

備前市事務事業評価表

事務事業名	病院運営事業（備前病院）	コード	02-02-07-01
		担当課・係	事務部庶務係
		担当者	今脇誠司
事業実施期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日	電話	0869-64-3385
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり	
	小項目(施策)	病院事業（備前病院）	

事業について	
目的 (何のために)	計画的・効率的に病院経営を推進すること
対象 (誰・何を対象に)	出資者である市民
内容	病院経営、院内各種委員会の運営及び施設の維持管理等

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
幹部会議	16回	52回	
運営会議	12回	12回	
業務改善委員会	12回	12回	
医療事故防止対策委	12回	12回	
薬事委員会	12回	12回	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	33,553	国庫補助金等	直接事業費	30,468	国庫補助金等	直接事業費	0
	人件費	71,551	受益者負担	人件費	67,063	受益者負担	人件費	0
	合計	105,104	一般財源等	合計	97,531	一般財源等	合計	0

必要人員	8.00人	7.60人
結果指標		
結果指標名		
結果指標量		
単位		
対前年比	-	
活動にかかるコスト	円	円
単位当たりコスト	円	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか			
成果指標名	決算における純利益		
	式又は説明		
	17年度	18年度	
成果指標量	16,577,372	81,358,027	
対前年比	-	490.78%	0.00%
到達目標値	± 0	到達目標年度	平成19年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 備前市国民健康保険病院条例	妥当性評価<A-E> A 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	入院機能や高度医療機器を備えた東備地区の中核病院として安全で良質な医療を提供するためには必要不可欠な事業である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A-E> B 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	バス路線の改定に伴う通院対象地域の減少、診療報酬の改定及び市からの繰入金金の減額など、病院経営を取り巻く環境は厳しさを増している。医療機器の更新を含め施設整備については中・長期計画に基づき効率的に行なう必要がある。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A-E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	地域の人々に信頼される病院として安定した医療の提供を行なうことを最大目的としている。そのため、施設の維持・整備を進めていくためには利益を確保する必要がある。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	

目標値	結果指標量	結果指標量
	成果指標量	± 0

総合評価	老朽化した施設の建替えが予定されており、起債を含めた資金繰りについても健全な経営計画が前提となる。18年度での診療科目の増設や19年度から行なう土曜開院など、可能な事業から着手している。今後においても繰越欠損金の解消を目指し、更なる努力を行なう必要がある。	評価区分 <A-E> B
------	--	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	基準内繰入遵守の要請	毎年度	当年度純利益の増と繰越欠損金の減